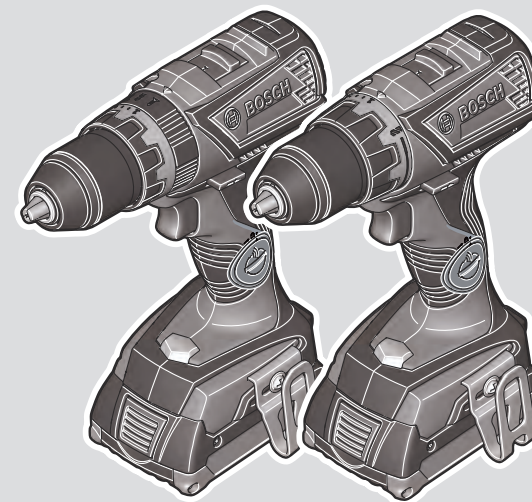




ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 3FA

1 609 92A 3FA (2017.02)

コードレスドライバードリル GSR 18V-60C / GSR 18V-60CH コードレス振動ドライバードリル GSB 18V-60C / GSB 18V-60CH



取扱説明書

このたびは、弊社コードレスドライバードリル・コードレス振動ドライバードリル
をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目 次

●安全上のご注意

警告表示の区分	2
コードレス工具全般についての注意事項	2
ドライバードリル・振動ドライバードリル についての注意事項	9
充電器についての注意事項	15

●リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	16
-------------------------	----

●本製品について

用 途	17
各部の名称	18
仕 様	20
標準付属品	21

●使い方

バッテリーを準備する	22
作業前の準備をする	25
作業する	29

●困ったときは

故障かな？と思ったら	40
修理を依頼するときは	41

●お手入れと保管

クリーニング	42
保 管	42

ご安全
注 意の

のリ
サイ
クル
に

つ本
製
い
品
てに

使

い
方

困
っ
た
と
き
は

保
お
手
入
れ
と
管

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレスドライバードリル・コードレス振動ドライバードリルには、当てはまらない項目も含まれています。



危険

ご安全上の注意

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

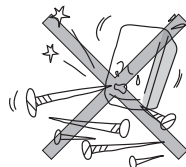


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。



警 告

1. 正しく充電してください。

- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が 0℃未満、または温度が 45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはめれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

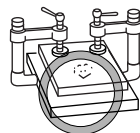
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



ご安全
注上
意の

8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

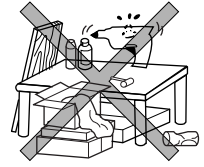
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人は、使用しないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ コードレス工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ◆ 小型のコードレス工具やアタッチメントは、大型のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



7. コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

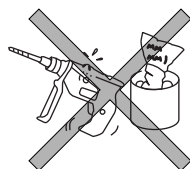
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。



14. コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレス工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ドライバードリル・振動ドライバードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警 告

1. 作業の条件・内容を考慮して、目的に合ったコードレス工具を用意し、アクセサリーを選定してください。
 - ◆ 目的に合っていないコードレス工具の使用は、事故やけがの原因となります。
2. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
3. 本機にBluetooth®送信機が装着されている場合、航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。
他の機器との干渉が起こることがあります。
4. Bluetooth®送信機が装着されているコードレス工具を使用する場合、近くの人や動物への影響を完全に排除することはできません。
5. 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

6. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。

特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。

◆ 発煙・発火の原因になります。

7. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、使用しないでください。

◆ コードレス工具操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

8. 作業前に、取り付けは間違いないか、可動部分が正しくしっかりとセットされているか、各部品の損傷がないか、その他問題がないかチェックしてください。損傷などあれば、使用せずに修理をご依頼ください。

◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。

9. 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、必ず「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、工具を持ち上げたり、移動したりしてください。

◆ 安全ロックの位置（中央）になっていない状態でスイッチに指をかけて運んだり、触れたり、バッテリーを取り付けたりすると、事故の原因になります。

10. 雨中での作業は行わないでください。また、本体を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。

◆ 感電の恐れがあります。

◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。

11. 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。

◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。

12. 使用中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
13. 使用中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
14. 誤って落としたり、ぶつかけたりしたときは、先端工具や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
15. 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
 - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - ー できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - ー 作業場所の換気に注意してください。
 - ー DS2 クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
 - 作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
16. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。

蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。

 - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

17. バッテリーを乱暴に扱うと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

◆ バッテリーから漏れた液は炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

18. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。

◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。

19. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所や水気・湿気のある場所の近くに置かないでください。

◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。

20. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、本体が冷めるための時間を設けてください。

◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

21. バッテリーを日光に長時間当てるなどの熱や、火、水、湿気にさらさないでください。

◆ 破裂する危険があります。

22. 先端工具が材料に挟まれたり、食い込んだりしたときは、「電子無段変速スイッチ」を切ってください。

◆ 先端工具が挟まれたり、食い込んだまま作業を続けると、反発（キックバック）の起こる可能性があり、大変危険です。

23. 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、調整・付属品の交換・保管をするときは、必ずコードレス工具本体からバッテリーを取り外してください。

◆ バッテリーを取り付けたままにすると、けがの原因になります。

24. バッテリーが装着されたコードレス工具は、子どもの手の届かないところに置いてください。コードレス工具に慣れていない人やこれらの使用説明を読んでいない人にコードレス工具の作動をさせないでください。

◆ 使用方法を知らない人が使用するとコードレス工具はたいへん危険です。

25. 作業場で粉じんの堆積は避けてください。

◆ 容易に発火する恐れがあります。



注 意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
5. 細径のビットは折れやすいので注意してください。
 - ◆ 飛散して、けがの原因になります。
6. 完全に停止してから、台や床などに置いてください。
 - ◆ 完全に停止してから置かないと、事故の原因になります。
7. 安全のため、保護めがね・ヘルメット・滑り止め付き安全靴、騒音からの保護のため、防音保護具を着用してください。状況に応じ、防じんマスクも着用してください。
 - ◆ 騒音は、難聴の原因になります。

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警 告

1. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適応した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
2. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。
3. やむを得ず、湿気の多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
4. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
5. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ◆ 爆発や火災の恐れがあります。
6. 充電器のバッテリー挿入部分には充電用端子があります。水や金属片などの異物を入れないでください。
7. 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上や、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
 - ◆ 火災の恐れがあります。
8. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
 - ◆ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

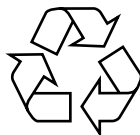
のリ
サイ
クル
に

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

用 途

- ◆ 木材、金属、セラミック、プラスチックなどの穴あけ
- ◆ ネジの締め・緩め
- ◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ (GSB18V-60C/GSB18V-60CH のみ)

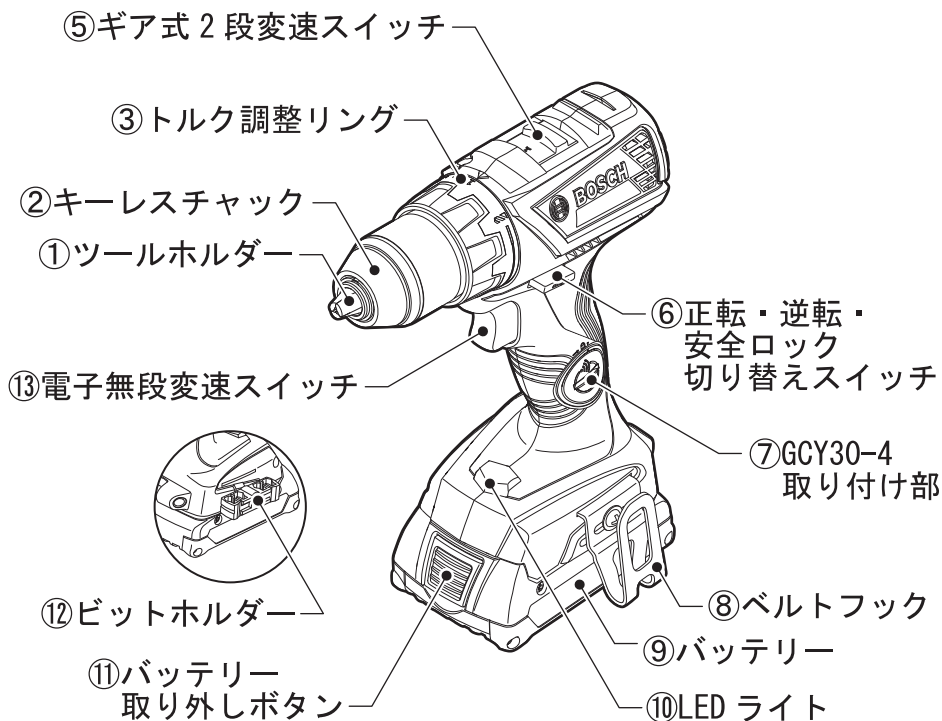
☞ LED ライト⑩の灯りは、作業を行う箇所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

本
製
品
に
つ
い
て

各部の名称

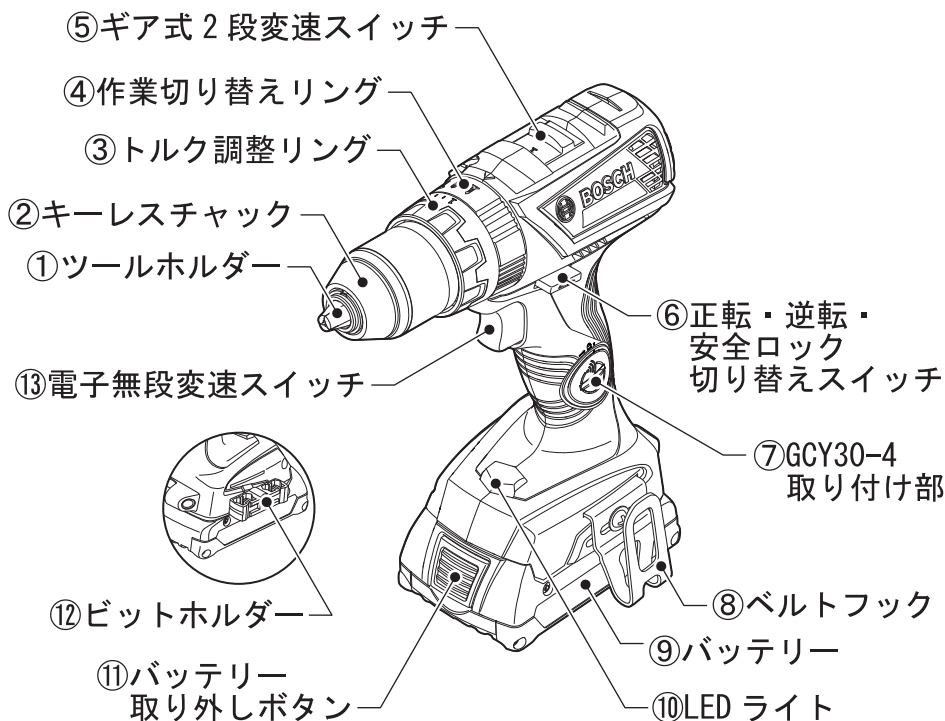
GSR18V-60C

GSR18V-60CH



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

GSB18V-60C
GSB18V-60CH



つ本
製
い
品
てに

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

本 体

品 番	GSR18V-60C GSR18V-60CH(本体のみ)	GSB18V-60C GSB18V-60CH(本体のみ)
定格電圧	DC18V	DC18V
無負荷回転数		
低 速	0～600min ⁻¹ (回転/分)	0～600min ⁻¹ (回転/分)
高 速	0～1900min ⁻¹ (回転/分)	0～1900min ⁻¹ (回転/分)
打撃数	—	0～28500min ⁻¹ (回/分)
最大トルク		
剛性体締め付け時	60N・m	60N・m
弾性体締め付け時	31N・m	31N・m
最大穴あけ能力		
木 工	38mm	38mm
鉄 工	13mm	13mm
コンクリート	—	13mm
ネジ締め(最大径)	10mmφ	10mmφ
チャック把握範囲	1.5～13mmφ	1.5～13mmφ
質量(バッテリー含む)	1.7kg(4.0Ah 装着時)	1.8kg(4.0Ah 装着時)
	(EPTA プロシージャ 01/2014 に準拠)	
充電可能温度範囲	0℃～+45℃	0℃～+45℃
使用/保管可能温度範囲 ^{*1}	−20℃～+50℃	−20℃～+50℃
振動 3 軸合成値		
鉄工穴あけ時	<2.5m/s ²	<2.5m/s ²
振動ドリル時	—	8.0m/s ²
ネジ締め時	<2.5m/s ²	<2.5m/s ²
原産国	マレーシア	マレーシア

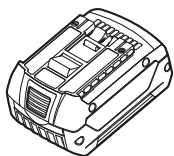
*1 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

リチウムイオンバッテリー (GSR18V-60C/GSB18V-60C のみ標準付属)

電 圧	18V
容 量	5.0Ah

つ本
製
い
品
てに

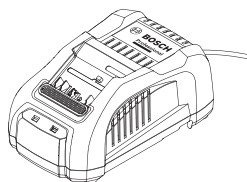
標準付属品



リチウムイオンバッテリー

18V 5.0Ah (2 個)

GSR18V-60C/GSB18V-60C のみ※¹



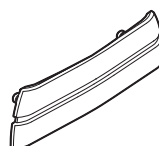
充電器

GAL 1880CV

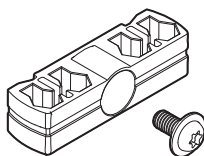
GSR18V-60C/GSB18V-60C のみ※¹



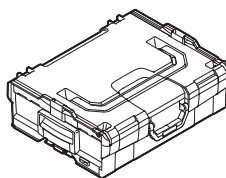
ベルトフック



カラークリップ (4 色)



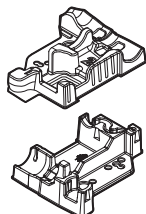
ビットホルダー



キャリングケース

(L-BOXX136)

GSR18V-60C/GSB18V-60C のみ※¹



インレイ※²

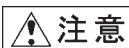
つ本
製
い
品
てに

※¹ GSR18V-60CH/GSB18V-60CH には付属していません。

※² GSR18V-60C/GSB18V-60C には 2 個、GSR18V-60CH/GSB18V-60CH には 1 個付属

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方



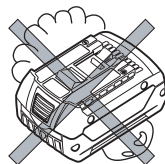
注意

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」が“安全ロックの位置（中央）”になっていることを確認してください。

バッテリーを準備する

● バッテリー⑨を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



● バッテリー⑨を充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

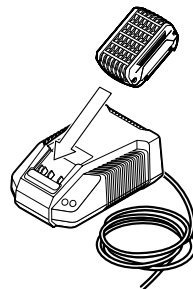
 リチウムイオンバッテリーは、バッテリー寿命に関係なくいつでも充電が可能です。また充電の中断がバッテリーにダメージを与えることはありません。



警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑨を充電してください。
- ◆ バッテリー⑨が熱くなっているときは、冷ましてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー⑨を差し込みます。
充電が始まります。
(『充電器の取扱説明書』参照)



3. 充電が終わったら、バッテリー⑨を充電器から抜きます。

4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

- ☞ 付属のバッテリー⑨は、出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリー⑨をフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。
- ☞ 新品のバッテリー⑨や長期間使用していなかったバッテリー⑨は、バッテリー本来の能力を発揮させるために、1時間程充電してから使用してください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー⑨の寿命が尽きたと考えられます。
新しいバッテリー⑨と交換してください。

● バッテリー⑨を取り付ける・取り外す



警告

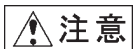
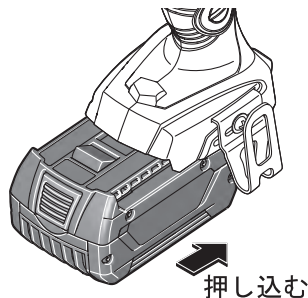
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

使
い
方

取り付け

バッテリー⑨を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と音がするまで押し込みます。

- ☞ 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑪」が押されただけではバッテリー⑨が外れないよう、バッテリー⑨の取り付けが二重ロックになっています。

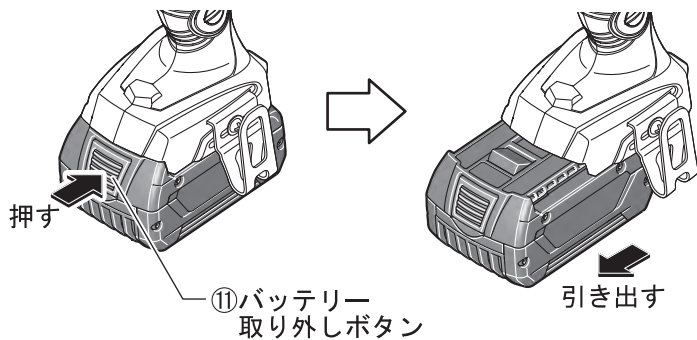


注意

◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

「バッテリー取り外しボタン⑪」を押しながら、バッテリー⑨を本体から前方へ引き出します。



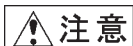
作業前の準備をする



警告

- ◆ けがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、バッテリー⑨を本体から取り外してください。

先端工具を取り付ける・取り外す

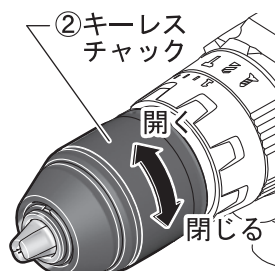


注意

- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、手など身体を傷つけないように十分注意してください。
- ◆ 先端工具は、キーレスチャック②の一番奥まで差し込んで確実に固定してください。

取り付け

1. キーレスチャック②を左方向（正面から見て反時計方向）に回し、キーレスチャック②のつめを開きます。



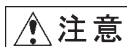
2. 先端工具をキーレスチャック②の一番奥まで差し込みます。
3. キーレスチャック②を右方向（正面から見て時計方向）に回し、キーレスチャック②のつめを閉じます。

取り外し

1. キーレスチャック②を左方向（正面から見て反時計方向）に回し、キーレスチャック②のつめを開いて先端工具を外します。

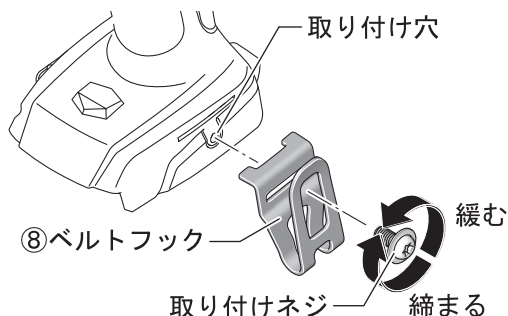
● ベルトフック⑧を取り付ける・取り外す

ベルトフック⑧を使用すると、ベルトなどに本体を掛けることができます。



注意

- ◆ ベルトフック⑧を使用するときは、作業をする前に取り付けネジでしっかり固定されているか確認してください。ネジが緩んでいるときは締めてください。



取り付け

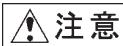
ベルトフック⑧は、本体の左右どちら側にも付けることができます。

1. ベルトフック⑧のネジ穴を本体の取り付け穴に合わせ、取り付けネジを差し込みます。
2. 取り付けネジをプラスドライバーで矢印の方向（締まる）に回し、締め付けます。

取り外し

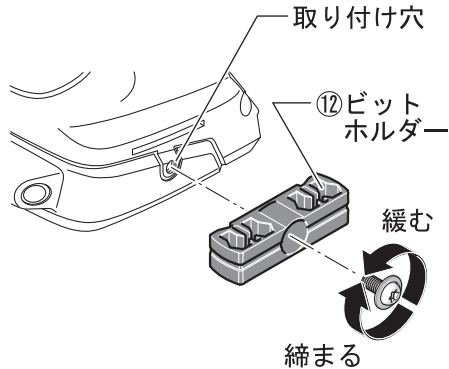
取り付けネジをプラスドライバーで矢印の方向（緩む）に回して緩め、ベルトフック⑧を取り外します。

● ビットホルダー⑫を取り付ける・取り外す



注意

◆ ビットホルダー⑫を使用するときは、作業をする前に、取り付けネジでしっかり固定されているか確認してください。ネジが緩んでいるときは締めてください。

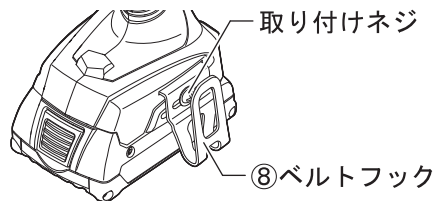


取り付け

ビットホルダー⑫は、左右どちら側にも取り付けることができます。

1. ビットホルダー⑫を取り付ける側に、ベルトフック⑧が取り付けられているときは、ベルトフック⑧を取り外します。

ベルトフック⑧は、プラスドライバーで取り付けネジを緩めると、取り外すことができます。



2. ビットホルダー⑫のネジ穴を本体のネジ穴に合わせ、取り付けネジを差し込みます。
3. 取り付けネジをプラスドライバーで矢印の方向（締まる）に回し、締め付けます。

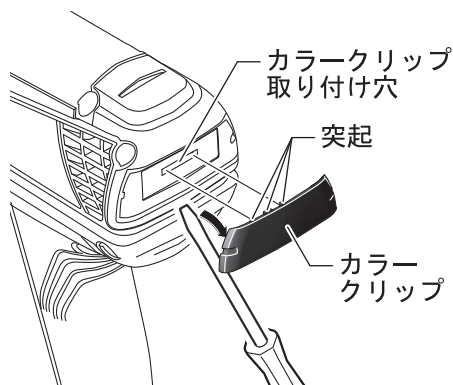
取り外し

取り付けネジを矢印の方向（緩む）に回して緩め、ビットホルダー⑫を取り外します。

● カラークリップを取り付ける・取り外す

同じ作業場で同じ品番の工具を複数個使用するとき、カラークリップの色を変えることで個体を識別することができます。

青、赤、黒、シルバーの4色が標準付属されています。



取り外し

本体とカラークリップの間にマイナスドライバーを差し込んで、取り外します。

取り付け

本体のカラークリップ取り付け穴に、カラークリップの突起を合わせて押し込みます。



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑨を取り付ける前に、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確認してください。
- ◆ 使用中に振り回されないよう、本体を確実に保持して作業してください。

本機には、**Bluetooth**®送信機“コネクティビティチップ GCY30-4（別売）”を装着することができます。取り扱いについては、『コネクティビティチップ GCY30-4』の取扱説明書をお読みください。

“コネクティビティチップ GCY30-4”を装着すると、専用アプリ「BOSCH Toolbox」をダウンロードした携帯端末機器と **Bluetooth**®により接続できます。

（専用アプリ「BOSCH Toolbox」は、Apple App Store、Google Play Store からダウンロードすることができます）

携帯端末機器を **Bluetooth**®接続が有効な状態にして、「BOSCH Toolbox」アプリを起動し、アプリ内の「My Tools」を開きます。

“コネクティビティチップ GCY30-4”とバッテリー⑨が装着された工具本体に携帯端末機器を近づけると、アプリが工具本体を認識します。（接続状態になると、LED ライト⑩が点滅します）

その後は、アプリの指示に従って接続作業を進めてください。

接続完了後、アプリでは工具本体の設定変更やバッテリー残量の状況確認等が行えます。

Bluetooth®のフードマークとロゴは、Bluetooth SIG Inc. の登録商標であり、Robert Bosch Ltd. は商標使用の許諾を得てこれらを使用しています。

電子セル保護システム（E C P 機能）

本機には、電子セル保護システム（E C P 機能）がついております。
 本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または使用温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。
 電子セル保護状態になると、LED ライト⑩が赤く点灯します。
 上記の状態が解消されると、LED ライト⑩の赤い表示が消灯し、再始動することができます。
 本体が停止している状態で「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込み続けると、故障の原因になります。

キックバック防止機能（E R C 機能）

本機には、キックバック防止機構（E R C 機能）がついております。
 作業中、キックバック現象*が発生する可能性を機械が感知した場合、モーターの回転を止めてキックバックを回避することがあります。
 この機能が作動した場合、LED ライト⑩が点滅します。
 上記の状態が解消されると再始動することができます。

※キックバック現象

穴あけ作業中、先端工具が材料に挟まれたり、食い込んだりして回転が止まったとき、その反動でモーターの回転方向とは逆に電動工具本体が振られる現象。

過負荷保護システム（E M P 機能）

本機には、過負荷保護システム（E M P 機能）がついております。
 本体が過負荷になった場合や、バッテリー⑨が使用温度範囲外になった場合、本体が自動的に停止します。
 過負荷保護状態になると、LED ライト⑩が赤く点灯します。
 バッテリー⑨が使用温度範囲内になると、LED ライト⑩の赤い表示が消灯します。
 バッテリー⑨が使用温度範囲内になるまで、最高速度では回転しません。

ドリルとして使用する

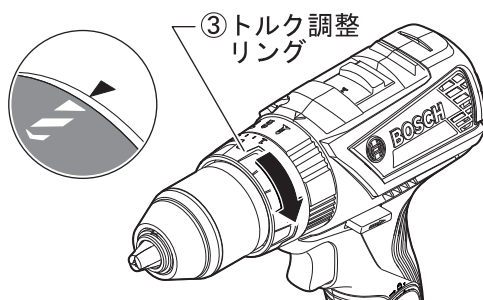
① 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を確認する

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」が安全ロックの位置（中央）になっているか確認してください。なっていない場合は、安全ロックの位置（中央）にします。

☞ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を中間の位置で固定すると、安全ロックが働き、不用意に「電子無段変速スイッチ⑬」を作動させるのを防ぎます。

② トルク調整リング③を切り替える

三角マークにトルク調整リング③のドリルマーク（）を合わせます。



☞ 数字やマークの中間部分では使用しないでください。故障の原因になります。

3 作業切り替えリング④を切り替える (GSB18V-60C/GSB18V-60CH のみ)



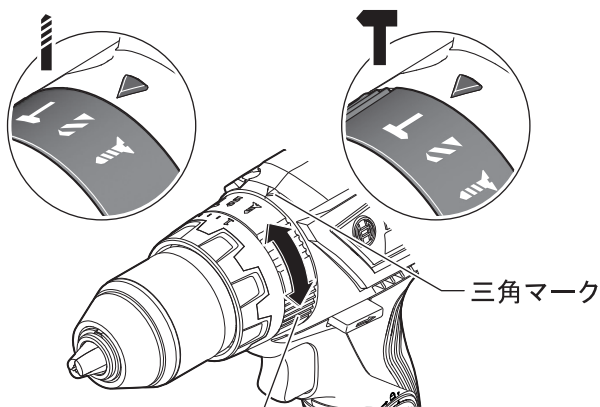
注意

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、作業切り替えリング④を切り替えてください。
- ◆ 「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込んでいるとき、作業切り替えリング④は切り替えないでください。
- ◆ 逆転時に作業切り替えリング④を **T** (打撃) にしないでください。

三角マークに作業切り替えリング④の **T** マークまたは **⚡** マークを合わせます。

コンクリート、レンガなどの穴あけ : **T**

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ : **⚡**



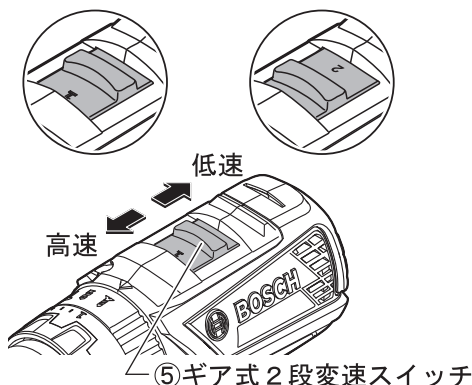
④作業切り替えリング

4 「ギア式 2 段変速スイッチ⑤」を切り替える

-  **注意** ◆ 「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込んでいるときは、「ギア式 2 段変速スイッチ⑤」を切り替えないでください。

速度 1：遅い回転速度・高いトルク（大径の穴あけ・深い穴あけ等に使用）

速度 2：速い回転速度・低いトルク（小径の穴あけ等に使用）



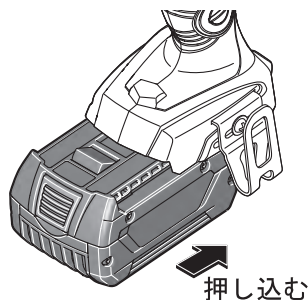
-  確実に各ポジションに入らないときは、「電子無段変速スイッチ⑬」をゆっくり引き、低速で回転させながら切り替えてください。

5 本体にバッテリー⑨を取り付ける

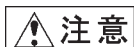
バッテリー⑨を、本体のバッテリー差し込み口に
“カチッ” “カチッ”と音がするまで押し込みます。

-  本機は、バッテリー⑨の取り付けが二重ロックになっています。

-  **注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。



6 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を切り替える

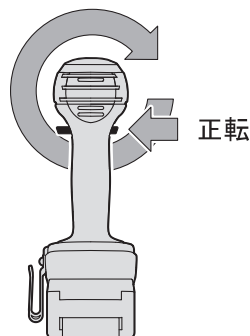


注意

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を切り替えてください。
- ◆ 「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」は切り替えないでください。

穴あけ

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」の右側（本体を後ろから見て）を押し込む



7 「電子無段変速スイッチ（ブレーキ付）⑬」を操作する



警告

- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 低回転での長時間の作業はしないでください。
低回転で作業する場合は、数分間ごとに無負荷状態で最高回転で回し、機体を冷却してください。連続作業の際は、必ずスイッチをいっぱい引き、最高回転で使用してください。

1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込みます。
LED ライト⑩が点灯します。



「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込む加減で、回転数が調節できます。



止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑬」から指を離してください。



本体が自動停止した後、「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込み続けな
いでください。

ドライバーとして使用する

① 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を確認する

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」が安全ロックの位置（中央）になっているか確認してください。なっていない場合は、安全ロックの位置（中央）にしてください。

☞ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を中間の位置で固定すると、安全ロックが働き、不用意に「電子無段変速スイッチ⑬」を作動させるのを防ぎます。

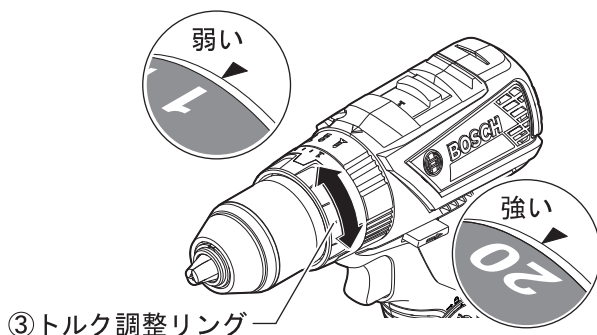
② トルク調整リング③で締め付けトルクを調整する

最適トルクになるように、三角マークにトルク調整リング③の数字（1, 3, 5..., 20）または目盛りを合わせてください。

トルク調整リング③の数字が大きくなると、締め付けトルクが大きくなります。

本機は、20段階のトルク調節が可能で、設定したトルクに達した時点でクラッチが作動し、先端工具の回転が停止します。これにより、すべてのネジを均一なトルクで締め付けることができます。

使
い
方



☞ 低いトルクから順に高いトルクに調整すると、最適トルクを設定することができます。

☞ ネジ径に応じた締め付けトルクに設定してください。強過ぎるとネジが切れたり、ネジ頭を傷めます。

☞ 数字や目盛りの中間部分では使用しないでください。故障の原因になります。

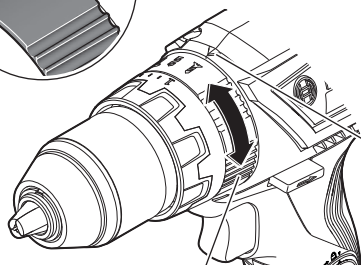
3 作業切り替えリング④を切り替える (GSB18V-60C/GSB18V-60CH のみ)



注意

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、作業切り替えリング④を切り替えてください。
- ◆ 「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込んでいるとき、作業切り替えリング④は切り替えないでください。

三角マークに作業切り替えリング④の  マークを合わせます。



三角マーク

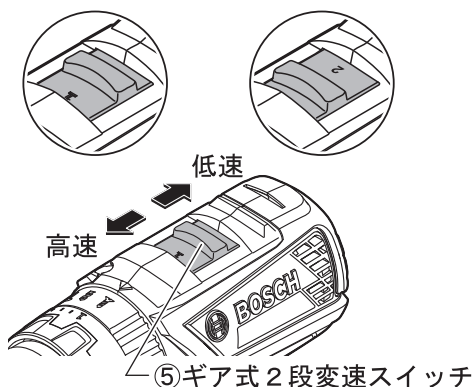
④作業切り替えリング

4 「ギア式 2 段変速スイッチ⑤」を切り替える

注意 ◆ 「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込んでいるときは、「ギア式 2 段変速スイッチ⑤」を切り替えないでください。

速度 1 : 遅い回転速度・高トルク（太ネジの締め付け等を使用）

速度 2 : 速い回転速度・低トルク（小ネジの締め付け等を使用）



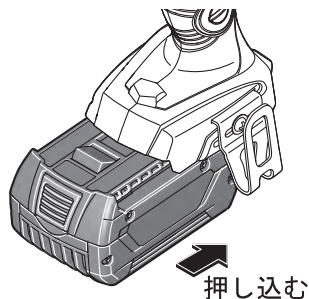
☞ 確実に各ポジションに入らないときは、「電子無段変速スイッチ⑬」をゆっくり引き、低速で回転させながら切り替えてください。

5 本体にバッテリー⑨を取り付ける

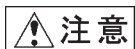
バッテリー⑨を、本体のバッテリー差し込み口に
“カチッ” “カチッ”と音がするまで押し込みます。

☞ 本機は、バッテリー⑨の取り付けが二重ロックになっています。

注意 ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。



6 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を切り替える

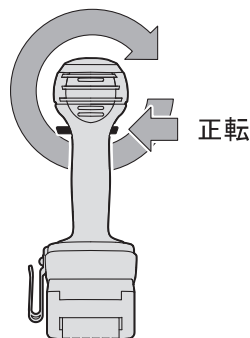


注意

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を切り替えてください。
- ◆ 「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」は切り替えないでください。

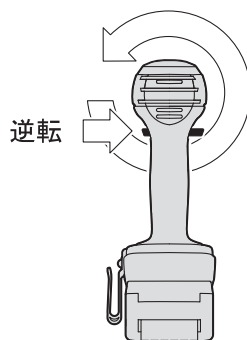
締め

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」
の右側（本体を後ろから見て）を押し込む



緩め

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」
の左側（本体を後ろから見て）を押し込む



**警告**

- ◆ 作業直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 低回転での長時間の作業はしないでください。
低回転で作業する場合は、数分間ごとに無負荷状態で最高回転で回し、機体を冷却してください。連続作業の際は、必ずスイッチをいっばいに引き、最高回転で使用してください。

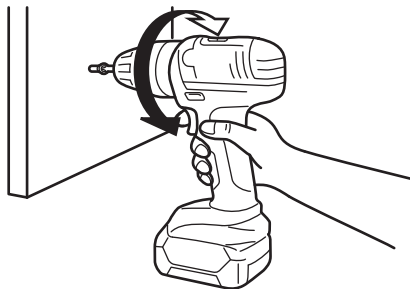
1. 先端工具をネジ頭の溝に合わせます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込みます。
LED ライト⑩が点灯します。

-  「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込む加減で、回転数が調節できます。
-  止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑬」から指を離してください。
-  長いネジを締めるときは、先端工具がネジから外れないように注意してください。
-  本体が自動停止した後、「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込み続けな

いでください。

スピンドルロック（手締め作業）

「電子無段変速スイッチ⑬」を離し、作動していない状態のときにスピンドルがロックされます。この機構により、手締め作業が可能です。



-  手締めによる過度の締めつけは、ネジを傷めますので注意してください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑬」を引き込んで、回らない	バッテリー⑨が消耗している 本機の温度が作業可能温度範囲外になっている	バッテリー⑨を充電するか、交換する 作業可能温度範囲内になるまで待つ
「電子無段変速スイッチ⑬」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」が“安全ロック” または、中途半端な位置になっている	“正転” か “逆転” の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる (穴があかない)	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	バッテリー⑨が消耗している	バッテリー⑨を充電するか、交換する
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」が“逆転” の位置になっている 「電子無段変速スイッチ⑬」を完全に引き込んでいないために回転数が低い	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑥」を“正転” の位置に切り替える 「電子無段変速スイッチ⑬」をいっぱいまで引き込む
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑨の寿命が尽きた	バッテリー⑨を交換する

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管



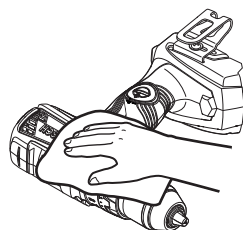
警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑨を本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

- 通風口やツールホルダー①、キーレスチャック②などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- バッテリー取り外しボタン⑪やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

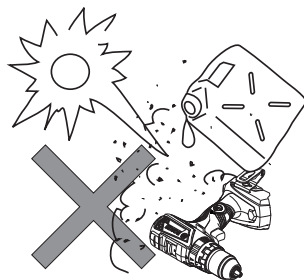
☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保管

- 使った後は、バッテリー⑨を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。



MEMO

[illegible]

MEMO

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.